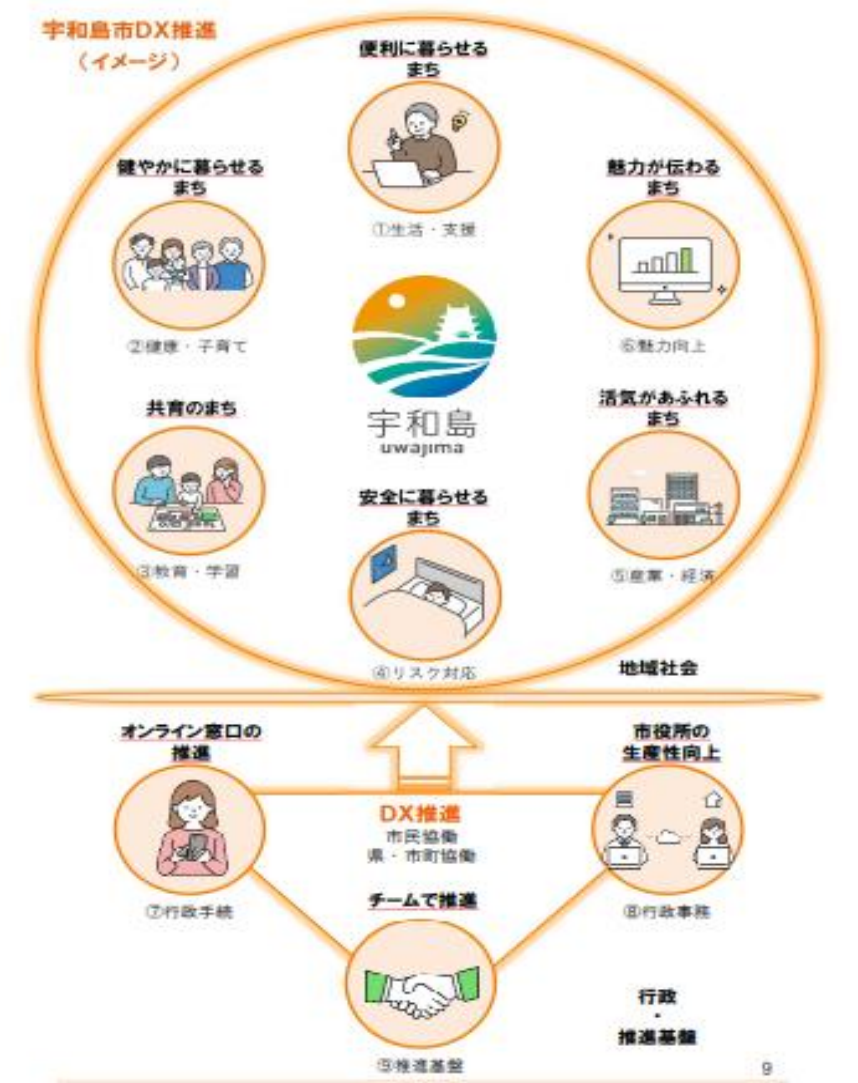
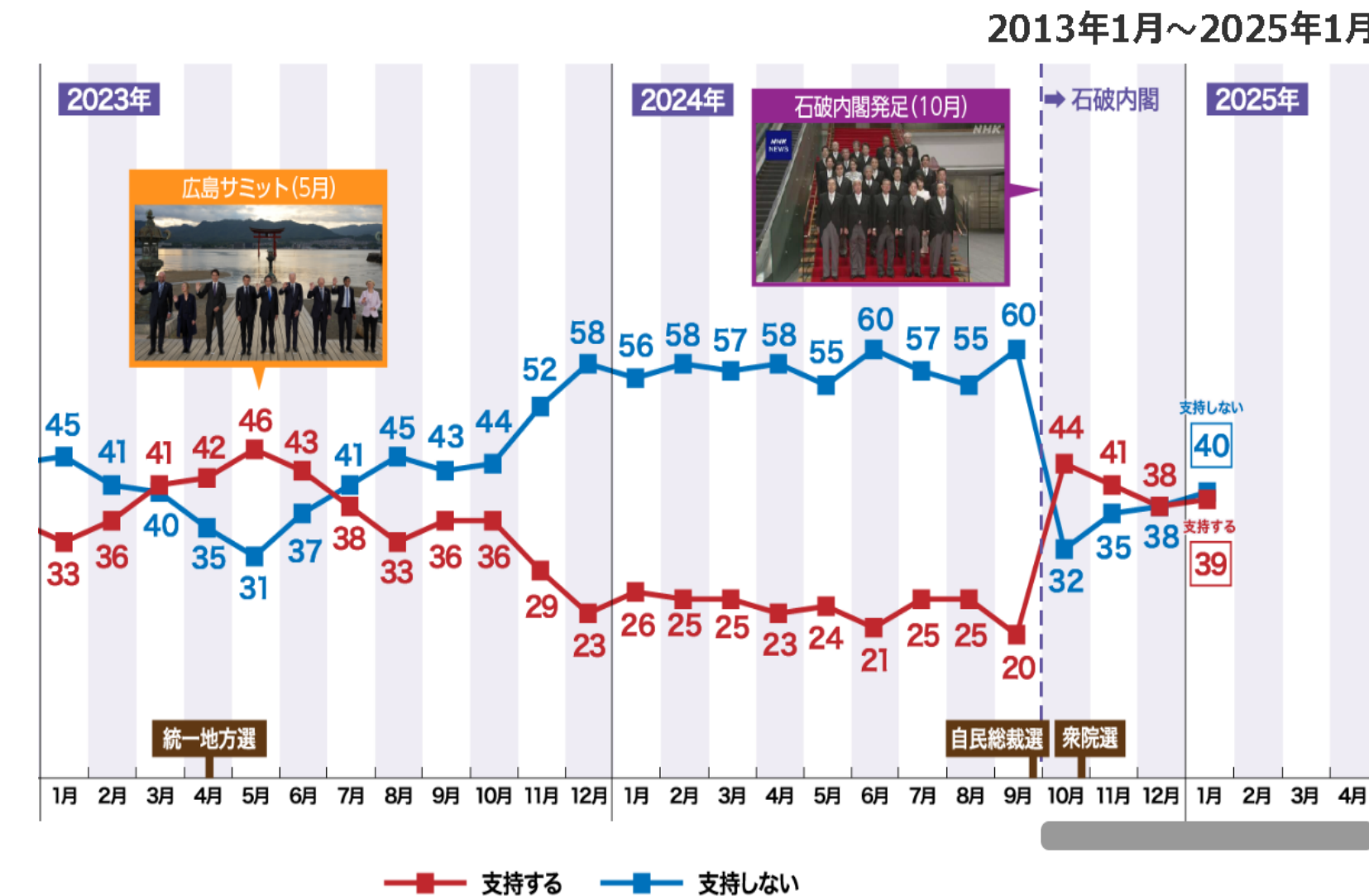
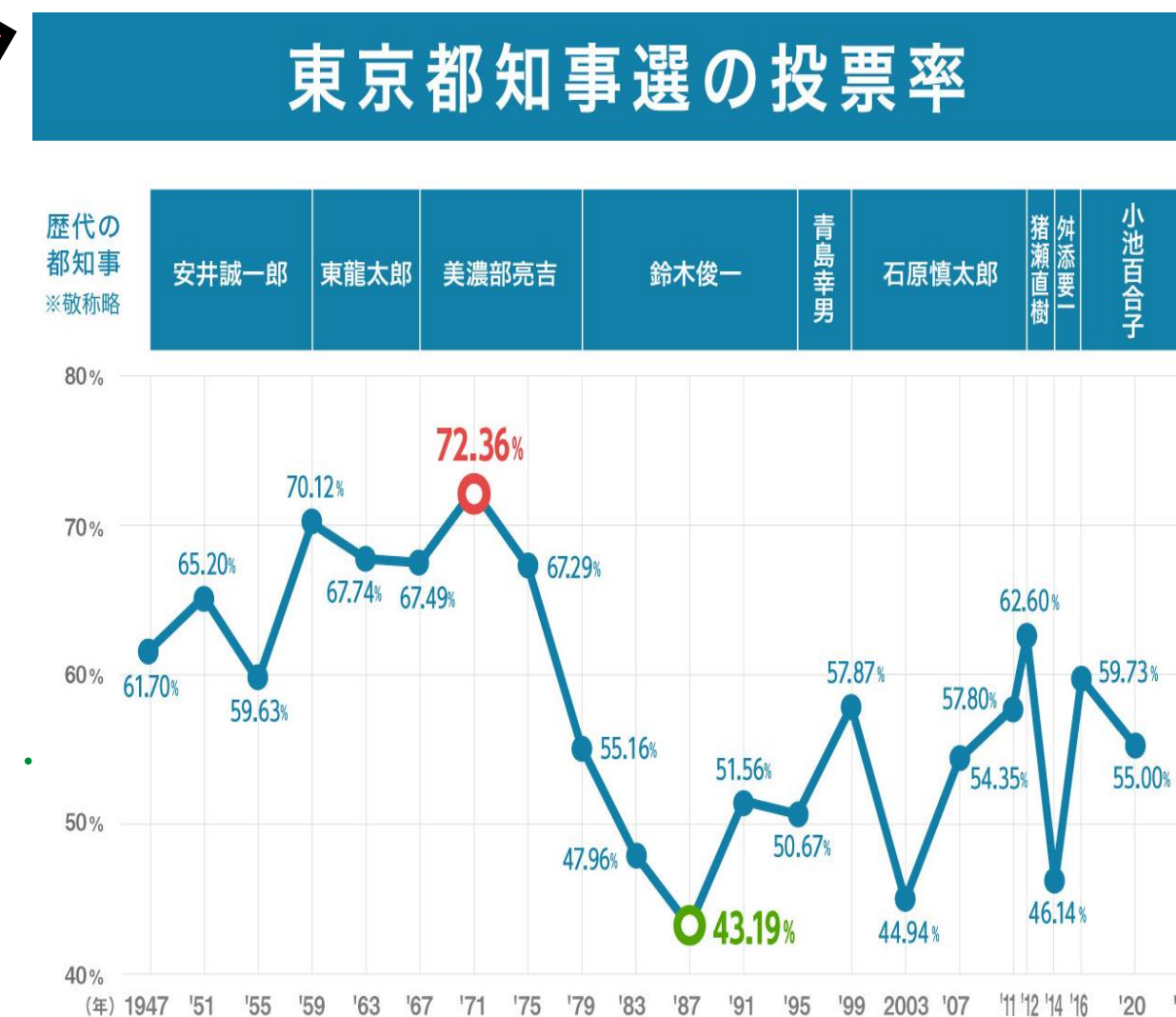


SNS時代のデジタル活用～有権者との新たなコミュニケーション～

文系4班 研究員：新家 晃一 野地 航矢 東 烈楓 木野下 紘希 青木 蒼一郎 芝 璃子 助言者：野中 誠也 工藤 恵美子

1 研究背景

- 行政課題：投票率・支持率の低下
- 宇和島市：DX推進計画(2022)
- 市民の声を色濃く反映できないか。



2 仮説

有権者も被選挙者も、よりSNSを活用することで、市民の意見が反映された政治の実現が可能になるのではないかな。

(2024年の東京都知選の関連資料)



出典 NHK
Yahoo
宇和島市
他

若年層の支持とSNSの関連性

石丸氏に注目！

3 研究手法

- * 情報収集 & データ分析
- ・自治体や研究機関のHP、RESAS等
- ・アンケート調査（生徒・自治体）

4 考察

・石丸氏：YouTubeやX等を用いたこと等によって特に若年層から支持を獲得したと考えられる。

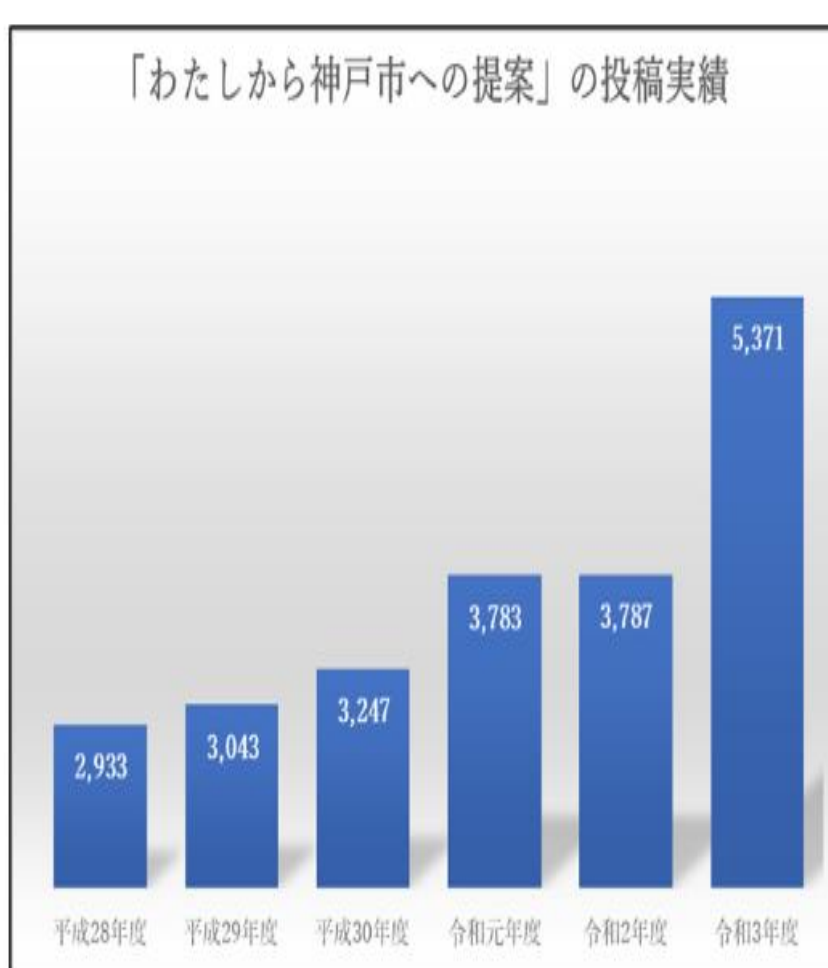
- 候補者本人の情報発信
- 有権者とのミスマッチ防止
- 民意の反映
- SNSを利用した活動には効果あり

* 宇和島市視察 *

「宇和島市はデジタル技術で先進的に地域課題を解決しているのだからAIの実装も進めてもらいたい」
by 平デジタル大臣
(2025.1 NHK)

5 今後の研究

- ・本校生徒対象のアンケートを実施し、得られた結果から宇和島市や他の市町村の取組事例と比較を行う。
- ・有権者との新たなコミュニケーション方法を模索する。



[投稿数の推移（平成28年度から令和3年度まで）]